



京都の夏は涼しい貴船の川床で

右源太の川床

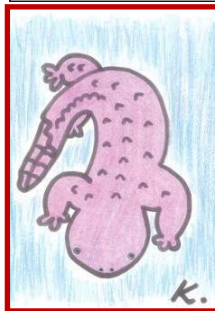


暑い夏は涼しさを求めて、貴船の右源太でランチにしませんか。京都駅から送迎付きのプランもあり、このようなせせらぎを聴き乍らの川床での食事はいかがでしょうか。

貴船神社

きふね神社（水の神様なので濁らない）

京都史跡ガイド
ボランティア協会
会長 山田久男
編集 澤田 卓



本宮 高麗神

イザナギの御子神（みこがみ）、水の供給を司る神 水の神様は火の神様から生まれたという貴船大神出現の故事

重森三玲・石庭

舟形石…神武天皇母の玉依姫は「雨風を司り国を、潤し土を養う。わが船の止まるところに祠を作るべし」と大阪湾から黄色い船に乗り、淀川、鴨川、貴船川を遡り、水源の地に至った。鴨川の水源・京都の水源を守る神。黄船は人目に触れぬように石で包み囲んだと伝わる。

気生根・気の生じる根源、

御神気に触れることで気が満ちる

絵馬発祥の地

歴代朝廷の信仰も篤く、水の神として、旱魃には黒馬・長雨には白馬又は赤馬を献じ、雨乞い、雨止み祈願。のちに馬形の板に着色した「板立馬」を奉納した。

結社 磐長姫命 いわながひめのみこと

木花開耶姫命の姉姫、縁結び 和泉式部が復縁祈願で参詣成就 和歌を詠む

和泉式部

—ものおもへば 沢の蜚も わが身より あくがれいづる 魂かとぞみる—
（意識…恋しさに悩んでいたら、沢に飛ぶ蜚）



7 月 7 日 10:00～

貴船神社 水まつり

水神様である貴船の神様に感謝して、今年も適度な水の恵みをいただけるようにお祈りする行事です。

も私の体から抜け出したたましいではないかと見える）
貴船明神返歌
—おく山にたがりて落つる 滝つ瀬の玉ちるばかりものな思ひそ—

（意識…奥山にたがり落ちる滝の水玉が飛び散るように、たましいが飛び散ってしまうほど思い悩んではいけない）

奥宮 高麗神（山上の龍神）・闇麗神

くらおかみのかみ（谷底暗闇の龍神）

降雨・止雨を司る龍神

本殿の真下には巨大な「龍穴（りゅうけつ）」

その上に社が創建された 丑の刻参り

日本三大龍穴

貴船・奈良室生・岡山備前龍穴…陰陽道や風水で「気」が地上に噴き出る大地のエネルギーが凝縮された吹き出し口。特に龍は水を司る神様なので、水が湧き出る場所が龍穴とされる。地形的にみると活断層が隆起している場所や、岩が重なって洞窟のようになっている場所。パワースポット。

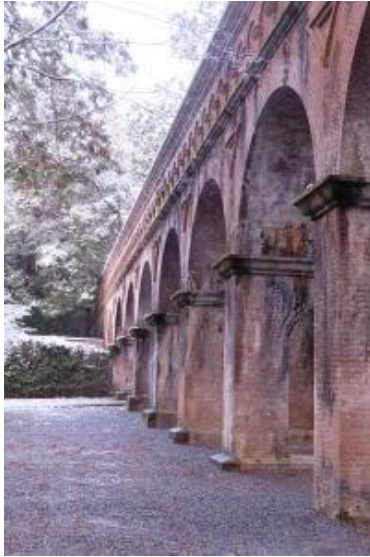


三つの国宝

チーム雅 秋房麻理

この春から京都に関わる「三つの国宝」が世間を騒がせております。

一つめの国宝は、「琵琶湖疏水」の国宝指定。当協会でも何度か琵琶湖疏水関連のウォークをしてきました。明治維新後に衰頹した京都の再興を支えた京都の近代化を象徴する都市基盤施設、技術の粋を集めて日本人の手によって構築された近代土木遺構であって、これをなくして今の京都の発展はなかったことでしょう。単に実用的なだけではなく、トンネルの意匠や扁額、南禅寺水路閣などその芸術性も優れたものです。近代土木構造物として初めて国宝指定されたことも京都にとって誇らしいことであり、またこの指定がこれからの「国宝」の方向性にも一石を投じたともいえるかもしれません。



二つ目の国宝は、京都・大阪・奈良で同時に開催された「国宝展」。写真やレプリカなどではよく目にしても、やはり実物からのオーラははかり知れないものがあります。私は京都と大阪には2回、奈良は博物館ボランティアをしていることもあって4回足を運びまし

た。人も多くて大変でしたが、初めて拝見するものもあり、足を運んだ甲斐もありました。特に京都で展示された俵屋宗達の「風神雷神図屏風」には釘づけで、絵の中から風神雷神の声が聞こえてくるようで、胸が締め付けられ涙があふれました。これだけの規模で日本中から「国宝」が集められ一堂に会したことはこれまでになかったと思います。大阪関西万博には個人的にはそれほど興味はないのですが、そのおかげでこれらの国宝展を見られたことは本当に感謝です。

そして三つめの国宝は、現在上映中の映画「国宝」。歌舞伎の世界に入った極道の息子の一代記の物語ですが、とにかく歌舞伎の演技がすばらしく、主演の吉沢亮、副主演の横浜流星はじめ、役者たちがどれだけの精進をしてこの映画に臨んだのだろうかとその熱量に感動で胸が震えました。歌舞伎もこれまでそれほど数を見たことはありませんが、実際の演目を観てみたい（特に「曾根崎心中」と思いました。京都のあの場所この場所もロケ地となつていきますので、それを探す楽しみもあります。私、既に2回劇場で観ています。これ、間違いなく今年を代表する、いや日本を代表する映画になりますよ。東宝の回し者ではありませんが、まだご覧になってない方はぜひ劇場で（笑）。



第205回史跡ウォークの結果報告

『クイズでたどる西国街道』 チーム彩

実施日 6月15日(日)

天候 曇り (雨がふりそうで)

受付時間 午前9時～9時30分

参加者 67名(うち賛助会員、24名一般の方は36名、新規の方が7名)

所要時間 約3時間

集合場所 調子馬ノ池公園(阪急西天王山駅下車東へ徒歩5分高速度道路の下)

コース ①調子馬ノ池公園：②中野家住宅：(西国街道道標)：③恵解山古墳：④老ノ辻三連橋⑤勝竜寺公園：⑥勝龍寺：⑦勝龍寺城土塁跡：⑧神足神社：⑨神足遺跡：⑩長岡京駅

1週間ぐらい前から当日の天気ばかり気になっていました。参加人数は満足できるものではありませんでしたが、曇天の下、雨も降らずに無事終了いたしましたことがなによりも良かったと思います。

数度、長岡京市内の「西国街道」を歩いてみて気がついたのですがクイズになるようなところがほとんどなくて困りました。それが第一の反省点です。気がついた時は遅かったですが。

自分自身も当初の目的どおり、お客様との交流ができたかどうか反省するところ沢山ありました。このコースに限らず話すことは沢山ありますが、十分に伝えきったか。逆にいろいろ聞き出せたか。成功か不成功かは各自の判断にお任せします。私は今後の活動に生かしていきたいと思います。

一部不手際ところあったこともふくめて。

祇園祭、南西の端っこで

チーム葵 遠藤千代子

まだ梅雨明けしていないのに京都の街は三六度超えの猛暑です。祇園祭の時期は暑さといわが雨がセットですね。

今回は三条の三条台若中会所の中を見せて頂ける機会を得られました。ここは四月のウオークで回られ場所はお存知の方々もいらつしやると思います。

神泉苑が祇園祭の発祥の地でそして三条通の又旅社はかつての神泉苑の南の端にあたります現在の神泉苑の10倍以上の大きさだったのです。かつては神輿担ぎを専門としていた長柄村というのがあったそうです。

時はながれ、その方々は商人になったり転居されたりとして実態がなくなりました。その後各村から青年団が集り三条台若中は誕生したそうです。

さて会所に入ると通から想像できない広く奥行のある建物です。昔ながらの通り庭が奥まであり竈の設えが残り、竈の上には吹き抜けの高天井で京町家造りが観られます。

1階、2階共、表から通しの座敷で大勢の方が一同に集まれる場所になっています。2階の床の間には櫛稲田姫、素戔鳴尊、5男3女8柱命と大きく書かれた掛け軸や八坂神社の神紋が刺繍された額が飾ってありました。

弁当打ちといわれるご奉仕7月17日、24日に行われます。朝6時に精進潔斎した担ぎ手が竹の皮で弁当を打つ。約3000食。白飯・胡麻塩・梅干し、沢庵を竹皮に収められます。

毎年会所では経験の少ない神輿の担ぎ手にリハールを行っているそうです。事故のないよう、足の運び方、交代のタイミング、リ

ズムなどクリアしないと担ぎ手用の半纏は授与しないそうです。又、リハールに参加する費用はすべてご奉仕になり、本番に備えます。会所はかつて西御座、中御座の二基を担いでいましたが現在は中御座のみになっています。

祇園祭の神輿は又旅社まで巡幸します。四条よりここで見えるほうが歴史を感じるかもしれませんね。

京都の地味な話 チーム彩 奥西不二

狩野神社へ行ってみると

狩野と書いて「とがのお」と呼びます。京阪橋本駅から坂道を登っていきます。この辺りの地主神社で石清水八幡よりも古いそうですが、現代は八幡宮の境外摂社の扱いです。最近改修されたということで行ってみました。参道の階段はまだ回収中でしたので横から。本殿が重要文化財指定になっておりした。振り返ると眺めはいいです。大阪まで見えそうです。他に何もないので京阪電鉄「橋本駅」まで戻りました。駅前の西游寺は法然上人のゆかりの寺らしいのですが、保育園が併設されていて簡単には入れてもらえない。ここも秀吉が来て茶を飲んだらしく湯澤山茶久蓮寺の異名を持つ。橋本と言えは遊廓の跡ですが、その雰囲気は少しあるだけで、現在の普通の住宅街でしかありません。次回のコースと考

えみましたがここはふさわしい場所ではないですね。



驚き、桃の木、明治の記』

51勝海舟（後編） チーム葵 今川博明

今回は勝海舟紹介の最終です。彼の幼いころのエピソードと亡くなるときのエピソードです。

9歳のとき、海舟は塾の帰り道に野良犬に襲われます。運の悪いことに、その犬は袴の中に入って牽丸に噛みついたのです。そのせいで、彼は約50日ものあいだ寝たきりとなり、死の彷徨をすることになったのです。このとき、父親は海舟に「頑張れ、このまま死ぬようなことになれば、犬死になるぞ」と励ましたそうです。

これ依頼、海舟はトラウマとなり、大人になっても犬に怯えたそうです。

もう一つは、海舟が亡くなる時のエピソードです。

明治32年1月19日、海舟は風呂上りにトイレに入ったところ倒れてしまいました。急ぎ、侍女に生姜湯を持ってくるように頼みましたが、間に合わないと思ってブランデーを飲んだそうです。しかし直後に脳溢血により意識不明となって息を引き取ってしまいました。最期に残した言葉は「コレデオシマイ」でした。

享年77歳。お墓は海舟の別邸・洗足軒があった東京大田区の洗足池公園にあります。

(おまけ)



(定林寺)

海舟が京の常宿していた場所は、出町柳にある常林寺でした。今では『萩の寺』として有名で、9月中旬ごろからは薄紫色や白色の萩で境内が埋め尽くされます。

お陰で晴れたかな

チーム都 今井 満

205回ウオーク本番を迎える数日前に乙訓を下見していると、ある民家に大量のテルテル坊主が吊り下げられていた。



おそらく6月15日は、なにか家族で楽しみなイベントがあつて、総出で折りなごう姿を想像し、思わず微笑んだ。

このお陰もあつてか、西国街道の史跡ガイドは大雨に見舞われることもなく、みな無事にウオークを終えることができた。

そしてテルテル坊主の由来は、中国の掃晴娘が長雨の雲を箒で払ったのが起源と謂われ、左図は歌川国芳の浮世絵で白衣を着せたテルテル坊主にお酒を飲ませ晴天を祈る画です。



佐渡イチの思い出

チーム葵 澤田 卓

今年のテーマの一つは、春の佐渡島で北東の巨石、大野亀周辺を彩るカンゾウの一齐開花を目にすることでした。5月下旬から開花が始まるのに合わせて出かけたのですが、今年は温暖気候で殆ど開花期を終えていた。

自転車を持ち込み車中泊旅行で1週間楽しましたが、佐渡一周は200km、私の脚力では無理で、北側（大佐渡コース）、南側（小佐渡コース）と2日に分けて走りました。

しかし、なんと急勾配の多いことか、風を切る下り坂と時速1kmで汗の噴き出る登り坂を繰り返して、2日間に会ったサイクラーは5人ほど。サイクルステーションは完備しているけれど、

もう少しロード整備しないと見所満載なのに宝の持ち腐れですね。

2日間自転車走りで300km走り、お尻が痛く入浴するとお尻がヒリヒリ沁み痛い出ができました。



たらい舟に乗って